

(平成30年3月13日)

課名

高校改革・特別支援教育課

件名	峡南高等学校クラフト科の閉科について
経緯	<ul style="list-style-type: none">・大正12年 開校(峡南農工学校)・平成25年 「県立高等学校基本整備構想」に基づき、4学科を電子機械科、クラフト科、土木システム科の3学科に改編。(一括募集に移行)・平成28年 平成32年度新設高校の開校が決定(増穂商業・市川・峡南の統合)。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p>新設高校の工業科では、産業界のニーズを考慮し、機械系及び土木系の2分野の学科を設け、クラフト科は設置しないこととなっている。</p><p>但し、クラフト科で実施する金属加工のうち、宝飾加工に関する授業については、選択科目として存続させる。</p></div> <p>クラフト科卒業生数の推移</p> <p>平成27年度卒業生25名</p> <p>平成28年度卒業生25名</p> <p>平成29年度卒業生13名</p>
内容	<p>改編の概要</p> <p>クラフト科については、平成31年度入試から募集停止し、平成32年度の卒業生をもって閉科とする。</p> <p>改編の理由</p> <ul style="list-style-type: none">・平成31年度に入学した生徒は、3年生になる平成33年度には新設校の校舎に移ることとなるが、新設高校にはクラフト科がないため、宝飾加工関係の機器以外の設置場所がない。・クラフト科の実習機器は数量も多く、木材加工に関する大型機械もあるため、新設高校の工業科実習室に仮設すると、機械系・土木系の実習が十分にできなくなる。・クラフト科の実習のみを峡南高校で行うとした場合には、移動時間を勘案すると、授業時間の確保に加え、ホームルーム指導や部活動時間の確保等において大きな影響が生じる。・1,2年次に木材加工等の実習を完了し、3年次には新設高校で宝飾加工の授業に特化する教育課程も考えられるが、新設高校への宝飾加工関係の機器は6名分のみ移設の予定であるので、クラフト科の生徒数は上限が6名となる。学習内容についても、3年次に設定するテーマが宝飾加工のみになってしまうので、1,2年次に学んだ内容を活かす場面が限られてしまう。